

平成 26 年 11 月 4 日

平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

1. 27 年 3 月期第 2 四半期の個別業績（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

(1) 個別経営成績（累計）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 2 四半期	14,262	△4.2	354	10.5	394	18.1	397	40.2
26 年 3 月期第 2 四半期	14,893	△1.1	320	4.6	333	1.8	283	△5.5

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27 年 3 月期第 2 四半期	23,085		11,774		51.0	
26 年 3 月期	25,022		11,321		45.2	

2. 経営状況について

【全体の状況】

当第2四半期累計期間においては、身装・美術工芸事業部門では、呉服部門でショップ形態への事業拡大を図るため、子会社の和ぎゃらりを吸収合併しました。またインテリアファブリック事業部門では、ホームファッション部門の強化を図るべく組織改編を行うなど、事業強化へ向けた環境整備を行いました。

商品面では、7月にウール素材のタイルカーペットシリーズ「プレミアムバンク VOL.2」、家庭用向けラグカーペット「ラグコレクション VOL.3」をリニューアル発売し、床材の商品ラインナップを充実させました。

当第2四半期累計期間における売上高は、消費税増税による消費低迷の影響を受け、前年同期比6億30百万円（4.2%）減収の142億62百万円となりました。

損益については、経費削減による利益率の向上、業務の改善に全社活動として取り組みを進めた効果で、営業利益は3億54百万円（前年同期は3億20百万円）、経常利益は3億94百万円（同3億33百万円）、四半期純利益は3億97百万円（同2億83百万円）となりました。

【事業別の状況】

[身装・美術工芸事業]

子会社和ぎゃらりの合併効果等から、売上高は前年同期比13百万円（1.2%）増収の11億64百万円となりました。

しかしながら、帯を中心とした呉服部門は消費税増税の反動により店頭顧客が減少したこと、緞帳や祭礼幕などを扱う美術工芸部門も売上が減少したこと等から、営業利益については、同99百万円減益の8百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

法人を中心としたコントラクト向けの販売は好調に推移したものの、消費税増税の影響により家庭向けの販売が落ち込み前年を下回ったこと等から、売上高は前年同期比6億43百万円（4.7%）減収の130億97百万円となりました。

営業利益については、原価低減・経費削減等の効果による減収のカバーで、同1億43百万円増益の4億6百万円となりました。

以上